

千中だより

令和8（2026）年 4月発行

吹田市立千里丘中学校

学校だより 第1号

入学おめでとう

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。2・3年生の皆さん進級おめでとうございます。中学校生活で大事にしてほしいことを入学式で話しました。その内容を2・3年生にも伝えます。

一つ目は、「自分を大切にすること」です。皆さんは、それぞれが唯一無二の存在です。思うようにいかず、自信を失うこともあるかもしれません。しかし、そんなときこそ自分を否定しないでください。作家の村上春樹さんは、「完璧な文章など存在しない、完璧でなくていい。才能よりも続ける意思、進み続けることが大切だ」と語っています。立ち止まったり、遠回りをしたりしながらも、前に進もうとする皆さん自身を大切にしてほしいと思います。

二つ目は、「他人を大切にすること」です。学校は、さまざまな考え方や感じ方をもった人が集まる場所です。意見が同じでないことや、考えが違うことは決して悪いことではありません。むしろ自分の知らない価値に気づく良い機会になります。しあわせの基準は、どんな時でも自分で決めることができます。他人を思いやり、相手の立場に立って考えることは、自分自身の心を豊かにし、よりよい人間関係を築く力となります。

三つ目は、「チャレンジを大切にすること」です。中学校生活では、新しい教科、新しい友人関係、部活動や行事など、多くの初めてに出会います。失敗を恐れず、ぜひ挑戦してください。元プロ野球選手のイチローさんは、「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行く唯一の道だ」と語っています。一步一步の挑戦の積み重ねが、必ず皆さんの力になります。

次に、保護者の皆様一言申し上げます。本日はお子様のご入学、誠にありがとうございます。今はお子様に対する期待よりも、中学校生活を無事に過ごしてくれるのだろうかという不安のほうが大きいかもしれません。さて現代は、テストの点数だけであれば、オンラインでも学べる時代です。しかし、学校の価値はそれだけではありません。学校は、仲間と関わり、失敗を経験し、悩み、考え、自分なりの答えを見つけていく場所です。その一つ一つの経験が、これからの社会をよりよく生きていく力となります。

何かトラブルが起こったとき、保護者の方がわが子を守ろうという気持ちは、私も同世代の子どもを育てている同じ親として共感します。しかしその思いが強すぎ、時に、子ども自身が乗り越えようとしている課題が、いつの間にか大人の問題に置き換わってしまうことがあります。それは善意からの行動であっても、子どもの成長のチャンスを奪ってしまうことにもなりかねません。私たち教職員も同じ立場です。生徒の成長を支える伴走者として、見守り、子どもの気づきや勇気を振り絞るのを待ち、支える姿勢を大切にしています。どうか学校と家庭が同じ方向を向き、協力しながら子どもたちの成長を支えていただければ幸いです。

新入生の皆さん。千里丘中学校での三年間は、きっと皆さんの人生の土台となる大切な時間になります。失敗を恐れず、仲間と支え合い、自分らしく歩んでください。

先生たちは、全員で皆さんの成長を支えていきます。 校長 吉川 正晃